

市長あいさつ

皆さまこんにちは。

今年も残すところ、あとわずかとなりました。

寒さが一段と増してまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

去る11月28日に、こども家庭庁において、こども政策担当を務める三原じゅん子大臣と面会をいたしました。

子ども・子育てにやさしい社会づくりを目指すため、国の全国一律の助成等による保育人材の確保や処遇改善が図れるようにしてほしいと、あらためてお願いをしてまいりました。今後も子どもたちと交流するとともに、保育士をはじめとした子どもに関わる皆さんからお話を伺うなど、現場の声を大切にしたいと思えます。

また、12月14日には、こども家庭庁との共催による茨城県内初の『こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in とりで』を開催し、こども家庭庁母子保健課長による基調講演、元サッカー日本代表の本並健治さん、丸山桂里奈さん夫妻と「みんなで考える仕事と子育ての両立」についてトークセッションやパネルディスカッションを行い、理想の「こどもまんなか社会」の実現に向けて、家庭や地域、組織や社会で何ができるかを考えました。

これからも、こどもや若者に優しい、こどもまんなか社会の実現を目指してまいります。

それでは、本日の発表事項に移ります。

はじめに、「ほどよく絶妙とりでファンクラブ」会員イベント『取手競輪体験ツアー』実施についてです。

市では、市民協働により取手の魅力ある地域資源を広く発信し、まちの認知度向上と郷土愛の醸成、市民間の交流が図れるよう『ほどよく絶妙とりでファンクラブ』を7月に創設しました。

今回、ファンクラブ会員向けのイベントとして、取手競輪場の魅力を体験していただく、「取手競輪体験ツアー」を実施いたします。

ファンクラブ創設後、初めての体験ツアーとして、茨城県内唯一の自転車競技施設「取手競輪場・楽天 K ドリームスバンク取手」において、競輪競技の魅力だけではなく、茨城競輪選手会所属の選手との交流、場内のトリックアートやグルメもお楽しみいただき取手の様々な魅力発見と発信に繋がることを期待しております。

次に、『取手アートプロジェクト 25 周年公演「象とまつ毛」』についてです。

今年度 25 周年を迎えた取手アートプロジェクトが、事

業開始から現在までにアートプロジェクトを通じてできた個人の小さな物語をもとに、芸術家をはじめ、さまざまな属性を持つ方たちと一緒に制作した、共同制作型演劇『象とまつ毛』を、来年3月に、たいけん美じゅつ場VIVAで公演いたします。

また、25周年アーカイブ展示や記念トークも開催しますので、併せてご覧いただきたいと思います。

以上で、私からの説明を終わります。

今年一年大変お世話になり、ありがとうございました。
皆さま良いお年をお迎えください。